

9月29日(日)

美咲の3Rの相手はこれまた大きい、165cmはあろうか。クロスにスライスが少しかかったボールを上から叩き込んでくる。足の遅い選手ではまったくお手上げだろう。美咲はこれを2球返せる。おそらく本能的にクロスを読んでいる、打たれた瞬間にもう走っている。でなければいかに美咲といえど返せるスピードではない。出足からよく入っていたこのクロスのボールが、突然入らなくなる。美咲のしつこい返球に力み始め、いらだち始めミスを一連発、すでにキレている。コートチェンジですら休もうともしない。スタートの美咲の頑張りが一瞬で勝敗を決めた試合だった。それにしてもメンタルの弱い選手だった。SFの相手は、昨日梓に勝った1シード10歳のノーエラー・ガール。足の速さは互角、ボールのスピードと体力で若干勝る美咲が、どれだけエラーを抑え、相手の足が乱れかけたところでチャンスボールをものにできるかだが・・・1セットは美咲のナイスショットを何度も拾われさらにいいボールを打とうと早いボールでラインを狙いすぎアウトの連発。エースを狙いに行くタイミングが早い。美咲のミスかエースでポイントが終わる。1エースに4エラー。相手3本に対し16本のエラー。2ndセットに入ってやや相手の足がもつれ始めるものの、今度は美咲のダブルフォールト連発が始まる。エースが増えかけているところを自分で壊している。4-5で30-0のチャンスがあったが、自分のエラーで結局試合を落としてしまった。ベスト4。客観的に今何が起きているのか見ることができるようになるともっと強くなると思いつつも、もともと守りは上手な彼女に今は終始攻め続けた姿勢をほめるべきだろう。・・・コーチは矛盾だらけの職業である。

沙織は体調がさらに良くなっているようだ。体のキレが昨日よりもずっと良い。ストロークの深さはまだ足りないが、サーブに安定感を持たせ、フォアのダウンザラインを有効に使っている。昨日よりもずっと楽な相手だ。決勝は12歳の小柄で華奢な少女との対戦。きれいな順回転のいいボールは打つものの、沙織のサーブと早いタイミングのラリーについていけず、ノータッチエースの嵐であつと言う間の決勝だった。今回の大会は、本人も参加を半ばあきらめていたようで、私に自己管理について叱られ、大嫌いな注射も打つての優勝だったので、いろいろな勉強になったのではないだろうか。

悠人対本杉は、楽しみにしていたくらい面白い試合になると思っていたが、本杉が好調の悠人を意識しすぎたようだ。自分から負けてしまっている。それだけ今の悠人はフットワークとショットの切れがいい。あとはネットだ。決勝もこの調子を維持してもらいたかった。が、早坂信に勝って決勝に登ってきた11歳の黒人選手に4-1リードからジャッジのトラブル続きで調子を崩す。相手に言いたいことがいえない、相手の言い分が聞けない、つまり相手のいいぶんになるしかない状態といえる。確かにセンス抜群でバネもあり、ミスも少ない。日本の11歳とはとても比較にならないすばらしい選手だが、今の悠人であれば十分に勝てる試合であったために残念だ。英語の必要性をいやというほど味わったのではないだろうか。準優勝はしかし、おめでとう。